

大会2日目に、大会に参加した若い世代の集いが催されました。そこでの感想文を紹介します。来年の大会でも予定されていますので、是非多くの人に参加してもらいたいと思います。

若者交流会 「若者の声」感想文

★先日は大変お世話になりました。

若者交流会もとても有意義で、幾人かの先生とはつながりがもてたので、よかったです。年1回とはいわずに、定期的に交流が持てたらいいのかなとも感じました。特に、歴教協をつないでいくには、若い人たちの取り組みが大切になっているのではないかと感じます。加藤公明先生や安井俊夫先生などの実践をつなげていく必要があると思います。立場上、なかなかフリーで動きづらい学校ではありますが、できるだけ参加していきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いします。

初めて全国大会に参加させて頂きました。まず私は前日の現地見学として、「大塩の乱と近代大阪の夜明けの地を訪ねる」コースに参加しました。猛暑の中、4時間ほど歩いた現代大阪の街。なかなか1人では入らない路地をひとつ入ることで、幕末や明治初期の人々の息吹が感じられる、そのような旅でした。本大会では基調講演と日本近現代分科会が印象に残りました。基調講演では、講師の内田先生が現代のとらえ方として、資本主義が進展することで国家に依らない富裕層が出現し、近代型国家である国民国家が解体していくこと、そのような中で一国史の学習は意味をなさなくなってくることを、事例をあげてわかりやすく話をして下さいました。中学校歴史的分野の「日本の歴史の大きな流れを理解し、「愛国心」を涵養する」ことを目指す学習指導要領に対して、一石を投じる内容だったと思います。ただ時間の関係上、「ではどうするのか」についての話が少なかったのは残念でした。分科会では、「一基の原子力発電所も設置されていない紀伊半島」についての発表や討論を聞きながら、特に戦後史が若い世代(私も30代です)にとって歴史の一場面となりつつあるなか、どのように教えていくかは、これからの大きな課題になると感じました。4日間で考えるべきこと(宿題?)をたくさん頂いた気がします。大変有

意義な大会の運営にご尽力下さいましたみなさまに感謝いたします。

＜教員・東京都＞

★若者交流会は、参加できて色々とお話できたのはよかったなあって思います。また、同じ年代の方たちがあちこちでがんばってらっしゃることがわかったのもやる気が出ました。帰っちゃった人もいますが、参加費は500円くらいが妥当かと思います。高すぎたら来ないし、タダだと、これからそんなもんだとも思われたり、参加者数が読めなくて収拾がつかなくなったりすると思います。また来年もたくさんの方々が来てくれるといいですね。アドレス交換の時間があったのも良かったです。＜教員・大阪府＞

★①若者会に出て…

同世代と話すことで、これほど元気になれるとは思いませんでした。学生時から参加していましたが、どこかで孤独を感じていました。指導のスキルばかり求められ、そればかりが話題となる現場にあって、深い理念と実践について、20代なりにもっと考えたいと思っていました。だから、今回、同じような関心事を持っている同世代と話げできたことは、素直によかったし、励みにもなりました。20代でレポート発表をした人もいて、すごく刺激を受けました。私たちの世代も、先輩方のように連帯して実践を積み重ねていきたいです。

②全体の感想

全国大会に行って、「福島」に向き合えた気がします。当事者として目を背けてきたことに、向き合わなければいけないと、静かに感じました。私たちが実践しないと、後世に残らない…。やっと気づいた気がします。

＜教員・福島県＞

★先日の関西大学での分科会、若者交流会では、大変お世話になりました。実は、この全国大会には、何が行われるのか全く知らずに参加しました。（すみません。）しかし、草分先生が「何があっても、一番最後まで会員でいるつもり」の会」「一番大切にしている研究会」と紹介してくださったので、とても興味が湧いて、参加することにしました。本当に、参加してよかったと思っています。

「現場に出ると時間がない」とよく聞くのですが、そんな中でも、時間や環境を言い訳にせずに、実践をしている先生がいることにとても感動しました。

卒論のテーマとも関係するのですが、「私の理想は、理想じゃなかった！」と感じました。うまく言葉にできないのですが…。

長々と書いてしまいました。この研究会に出会えてよかったなあということ言いたかったんです。たくさんの人とつながることができて、嬉しかったです。また来年も参加したいです。

若者交流会の感想も、遅くなりましたが、よろしく願います。

同世代の方と、社会問題や教育について、これほど真剣に話し合えるとは思っていませんでした。「何を言っても受け止めてもらえる」という印象がありました。みなさんとの交流の中では特に、東日本大震災について、様々な話を聞いたことが大きかったと思います。そのときの現場の状況、子どもたちの様子、そして原発のことなど。日に日に、震災関係の報道が少なくなってきたはいますが、交流会の参加者の中では、大きな課題として残っており、何一つ問題は解決していないのだ、ということを実感しました。教育者として、どう震災と関わっていくか？ 真剣に考えなくてはならないと思いました。

〈大学4年生・三重県〉

来年も開いていただければ、参加したいです。

まとまらない文章ですがよろしく願います。

★交流会，是非ともありだと思えます。私の出る幕はないかな。とは思っていますが。

コメントですが、前向きな気持ちを持っている若い先生や先生をめざす方々がいて、大会に参加していることがすごいというか、嬉しいなと感じました。これが何より率直な感想です。

あとは、当日もお話ししたようなことですが、全国大会で出会うまでの道のりには、まず恩師や大学の先生であったり、歴教協へ結びつ

く出会いですよね。また、その出会いを「良い」と思って前に進む自分の感性と行動力。そこから先は、浅井さんが行っていたように、自分でつながりを作っていくこと。

そして、そのつながりを広げていくことなのかなと思います。

大きな歩みではなくても、小さなつながりができるきっかけ、それを大きくしていくきっかけ。。。何よりも、自分が勇気と自信を持って歩んでいける「つながり」が大事だなぁと思いました。

その意味で若手交流会、大成功と感じました。企画・運営ありがとうございました。

＜教員・大阪府＞

私はつながりを作るのは苦手なのですが、大会での出会いも大事に、そしてこれからは、同僚や教育実習生、教え子……そんなつながりも広げて行けたらいいなぁと思いました。

まとまらない、素直でもない、ひねた感想でごめんなさいね。